

近代スポーツの誕生・世界的伝播に関する一考察  
～クリケット、フットボール、ベースボールを中心に～  
A study of Birth and Worldwide Diffusion of Modern Sports  
～Focused on Cricket, Football, and Baseball～

1K07B146-0

指導教員 主査 友添 秀則先生

内藤 祐太郎

副査 寒川 恒夫 先生

【動機】

現在われわれが慣れ親しんでいるスポーツの多くは、イギリスやアメリカを始めとするヨーロッパ諸国で誕生したものである。それらは主に18世紀以降に考案され、発展し世界各地に伝播・普及してきた。しかしながら、スポーツ普及の度合いは地域性によって違いが見られる。それはヨーロッパ諸国が世界各地を植民地化していたことに大きく関わっている。また、宗教、地域性との関係性があると考えられる。なぜ植民地でのスポーツ普及が必要だったのか、原住民は近代スポーツをどのように受け止め、また受け入れていったのか。そこには当時のヨーロッパ諸国の教育観やスポーツ観を見ることができると思い、このテーマを設定した。

また、近代スポーツの前身は中世時代やそれ以前の都市や農村に見ることができる。近代スポーツが世界に発信する前にイギリスやアメリカでどのように誕生し、国内に伝播し、国民に受け入れられていったのか。それはそれぞれのスポーツで異なり、スポーツが元来持っている諸特性が明らかになってくると考える。世界的伝播の研究と同時に、イギリスやアメリカの社会的背景や思想の変遷に伴って、ルールが作られ、近代スポーツになった経緯を調べていきたい。

【目的】

この研究を通して、近代スポーツの起源から、国内的伝播そして世界的伝播について、またその周辺との一連の関係を明らかにする。第1章では、近代スポーツが誕生する以前のイギリス社会や当時のスポーツに焦点を当てる。なかでも、アスレティシズム誕生の舞台となるパブリック・スクールや近代スポーツの特性などを明らかにしていく。

第2章では近代スポーツの代表として、クリケット、フットボール、ベースボールをテーマに挙げる。これらスポーツの起源、国内的伝播そして世界的伝播について明らかにする。

また、近代スポーツの台頭により、既存の伝統スポーツや文化の大部分は変化や消滅を余儀なくされた。周辺国や植民地の伝統的スポーツは尊重され、近代スポーツは現地の人々に受け入れられたのか。またどのように対応してきたのか、第3章では近代化するスポーツに抵抗してきた物(者)にクローズアップし、明らかにしていく。

【概要】

【第1章】近代化に伴うイギリス社会・スポーツの変遷

18世紀後半から始まる産業革命を契機として、イギリス

社会はそれまで農業を基本とする社会から、工業に依存する社会へと転換する時代であった。囲い込み政策などの農業共同体の解体と産業化への動向を背景に、伝統的スポーツは姿を消していくことになる。一方、イギリス・近代スポーツはエリート教育機関であるパブリック・スクールを核として行われた。エリートたちの教育イデオロギーとして誕生したアスレティシズムはやがてその性格から帝国主義と結びつき、イギリス・近代スポーツは世界に発信していくこととなる。

【第2章】各スポーツの誕生と世界的伝播

近代スポーツの伝播は、イギリスの植民地主義や帝国主義拡張と深く関わっていた。その伝播過程にはヨーロッパの多くの人間が関わった。イギリスの軍人、外交関係者、貿易商人、宣教師、教師など様々であった。18世紀にはクリケット、19世紀にはサッカーが世界的に組織化され、定着され始めた。世界規模での近代スポーツは18世紀から20世紀にかけて進展した。また、アメリカ生まれのベースボールは、サッカーよりも早くルールや連盟が誕生した。それは爆発的なスピードで国内に伝播し、やがて親交の深い日本にもたらされたのである。

【第3章】変わりゆくスポーツ社会と抵抗するものたち

こうして世界中にもたらされた近代スポーツは、すぐさますべての地域で受け入れられるわけではなかった。ドイツのトゥルネンやスウェーデン体操はその特質上、近代スポーツの伝播に抵抗したものである。国民体育として行われた体操は、鍛錬された肉体をアピールする演技や規律ある集団行動を主とし、強いナショナリズムの性格を有していたため、インター・ナショナリズムの性格を持つ近代スポーツとは相容れないものであった。

そして忘れてはいけないのは、近代スポーツの登場により各国、各地域の伝統的スポーツや文化の虐殺ともいえる現象が起こっていることである。その一方で、相撲などは現在もその風習が残っている文化である。文化は常に流動的で、変化していくという観点から言えば、消えていくことは仕方のないことなのだろうか。しかし、ニュースポーツや生涯スポーツなどの新しいスポーツニーズが登場していることも事実である。このようなスポーツが台頭し、現在存在するスポーツも消滅し、多くの伝統的スポーツと同じ運命をたどる可能性も十分に考えられる。